

WEEKLY REPORT

創立/1986年2月19日 (会長) 榊原 一久 (副会長) 月井 雅夫 (幹事) 細田 新子
 例会場/〒171-8505 東京都豊島区西池袋1-6-1 ホテルメトロポリタン TEL 03-3980-1111
 事務所/〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-29-14-101 TEL 03-3985-7577 FAX 03-3590-6644
 HP http://www.toshimah-rc.jp E-mail info@toshimah-rc.jp



人類に
奉仕する
ロータリー

2016~2017 年度会長方針 「会員同士の親睦を深めて奉仕の理念を実践しよう」

第 1445 回例会

2016 年 11 月 16 日

本日のプログラム

例 会 12:30~13:30

会員卓話: 「マーケットを語る」

成枝 隆明会員

(紹介者) 職業奉仕委員長 稲川 一会員

今月のソングリーダー 齊藤 直会員

前回第1444回例会報告 2016年11月9日

会 長 報 告

本日理事会後に指名委員会を行い、月井雅夫会長エレクトより次年度役員、理事候補者の推薦がありましたので発表いたします。

なお、次年度役員のうち会長エレクト（次々年度会長・副会長）、及び副幹事につきましては、指名委員会より候補者の推薦があり次第公示いたします。

公 示

クラブ細則第3条第1節及び指名委員会規定第3条に基づき指名委員会が指名した次年度役員、理事候補者を公示する

【候補者指名】

会長エレクト（次々年度会長）	未 定
次年度役員 副会長	未 定
幹 事	滝澤 宏
会 計	櫛田 隆治
SAA	稲川 一
次年度理事 直前会長	榊原 一久
職業奉仕担当	佐々木通博
社会奉仕担当	有我 信行
国際奉仕担当	櫛田 隆治
青少年奉仕担当	廣内 世英

幹 事 報 告

1. 来年2月開催の地区大会について、未定でした記念講演の内容が決定したとのことです。講演者は、経済アナリストで獨協大学経済学部教授の森永卓郎氏、講演タイトルは「今 何が起きているのか? 世界経済と日本経済」ということです。なお、出欠のお返事は11月11日（金）必着で事務局までお願いいたします。

次回のプログラム

11月25日（金）

北分区合同例会・IM

(於:ホテル椿山荘東京 プラザ棟5階「オリオン」)

登録受付開始 11:00

食事開始 11:30

※11月30日例会の振替となります

※11月23日は祝日休会

例会内容変更のお知らせ

【12月7日例会】

12:30~14:00 ※(通常例会より30分延長)

クラブ協議会④

「活性化委員会」発足の報告

これからのクラブの在り方について ほか

2. フリートークの中で提案されました新入会員の方へのカウンセラー制度の担当が決まりましたのでお知らせ致します。

皆川会員のカウンセラー: 廣内会員

涌井会員のカウンセラー: 櫛田会員

成枝会員のカウンセラー: 村中会員

松井会員のカウンセラー: 浅原会員

新入会員の皆様、そしてカウンセラーの皆様、よろしくお願ひします。

委 員 会 報 告

櫛田国際奉仕委員長

アトランタ国際大会の件

佐々木会員

「前川会」の件

■ゲスト

青少年交換派遣予定学生

山元 梨楠様

■ビジター

浦和中RC

染谷 幸一様

東京池袋RC

榎本 稔様

■出席報告

会 員	出席算入 会員数	出席数	欠席数	出席率	10月19日分 修正出席率
33 名	29 名	26 名	3 名	89.66%	96.55%

ロータリー財団100周年の意義

佐野明三郎 ロータリー財団委員長



ロータリー財団の発足と使命

今から100年前の1917年アトランタ国際大会で、アーチ・クランプR I会長が「ロータリーで基金を作り、世界規模で慈善、教育、社会奉仕において“世界で何か良いことをしよう”」と提案、採択されロータリー財団が創設されました。この財団の100周年を祝って、来年6月にはアトランタでロータリー国際大会が開催されます。

ロータリー財団の使命は、3つあります。①人々の健康状態を改善する ②教育への支援を高める ③貧困を救済する これらを通じて世界理解、親善、平和を達成することです。

財団設立の1917年は第一次大戦の最中でありましたが、R Iは大きな器で世界に奉仕することを考えていたことに敬意を憶えます。

高評価を受けている財団の収支・運営

ロータリー財団の収支に関して「良く判らない」との意見がありますので説明をします。

財団への寄付総額は2014 - 15年度269億円、120万人のロータリアンでは一人当たり1.7万円です。内訳は、①年次基金 - 123億円。②ポリオプラス基金 - 29億円（ビル・ゲイツ財団から約2倍強の支援すなわち69億円が入ります）によって計98億円。③恒久基金 - 20億円。④その他 - 28億円でトータル269億円です。

これに対する支出は、収入の92%を財団プログラムとプログラムの運営費に支出しています。支出項目は①ポリオプラス - 123億円。②グローバル補助金 - 65億円。③地区補助金 - 24億円。④プログラム運営 - 21億円。⑤寄付推進 - 16億円。⑥その他 - 12億円。⑦一般管理費 - 5億円で支出合計は266億円です。

財団は審査組織である「チャリティー・ナビゲーター」から最高評価4つ星を受けています。奉仕慈善団体の上位

2016-17年度
第6回フリートーク
in
オリентエクスプレス

(活性化委員会・準備委員会)

・11月9日(水) 18:00~

於:「桂林」ホテルメトロポリタン

・出席者11名

これまで例会終了後にオリентエクスプレスにて5回に亘りフリートークを開催してきましたが、参加できない会員にはそこでの議題や決定事項などを十分に周知できていないのではとの意見がありました。

そこで、12月7日例会をクラブ協議会とし、フリートークについての説明やフリートークの中で立ち上げられた活性化委員会についての報告、今後のクラブの在り方について会員の皆様と話し合う場を設けることとしました。通常例会より少々時間を長く取って開催しますので、皆様全員参加をお願いします。



2%に入る優れた管理体制、財務的責任を全うしていると評価されています。

財団が進める三つのプログラム

ロータリー財団が進めるプログラムは、①ポリオ撲滅 ②ロータリー平和フェローシップ ③補助金プログラムの三つだけです。財団はややこしいという先入観を取り除いて頂きたいと思います。

まず、ポリオ撲滅ですが、1988年に125か国35万人がポリオに罹っていましたが、2015年には2か国74人にまで減少しました。このようにもう少しでポリオを撲滅するところまで来ているのですが、ポリオ撲滅には資金確保が必要です。わずか60円のワクチンで一人の子供をポリオから守ることができます。ポリオプラス基金にお一人3000円のご協力をお願い致します。

次のプログラムは「ロータリー平和フェローシップ」です。これは、世界各地で平和の推進者となる人材を育成するための奨学金制度です。財団が候補者の中から100名を選抜し、世界6大学で紛争予防・解決を学びます。皆さんのご寄付を元に財団が奨学金を支給します。

三つ目は、私たちのクラブが奉仕活動を行う補助金プログラムです。近年、「補助金」は我が地区の会員が財団に対して寄付したものが原資です。3年前の寄付の約半分が地区に返ってきます。(これはキャッシュではなく割当です。各種プロジェクトが実行されるとキャッシュで支払われます。)「補助金」は、「地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類に分かれます。どちらの補助金も「人道的プロジェクト」と「奨学金」に使用可能です。

ロータリー奉仕活動の根幹

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることであり、この奉仕活動の原資になる寄付をお願いしています。

上山ガバナ一年度の我が地区の寄付方針は、年次基金へ15,000円 ②ポリオプラス基金へ3,000円 ③恒久基金へ3,000円 ④ロータリー平和フェローに2,000円 計23,000円となっております。

ロータリーの奉仕活動の根幹をなす財団の100周年の意義をご理解頂き、寄付にご協力をお願い申し上げます。

2016年11月9日(水)

第5回定例理事会 議事録

1. 月井会計より10月分会計報告
2. 11月のスケジュールの確認及び12月、平成29年1月のスケジュール承認
3. 次年度役員・理事候補の公示について報告。理事会終了後に行われる指名委員会で指名
4. 活性化委員会の設置について承認。委員会の委員、位置付け等については今後協議
5. 新入会員にカウンセラーを付けることを承認。カウンセラーの人選を早急に行う



年間皆出席会員



青少年交換派遣予定学生
山元梨楠さん
バレーボール部の楽しさを
英語でスピーチ

ニコニコ B X

佐々木会員/遅れましたが、先月の結婚記念日祝、ありがとうございました。何かと例会当日、忙しかったもので。

櫛田会員/11月誕生日のお祝いをいただきました。誠にありがとうございます。来年6月はアトランタへ行きましょう！